

皆の益となるために、一人ひとりに御霊の現れが与えられているのです。

コリント人への手紙第一 12 章 7 節

「教会を建て上げる」という事は私たちクリスチャンにとって大切な要素の一つです。今日は教会を建て上げる中で大切なことを三つ分かち合いたいと思います。

まず一つ目は私たち一人ひとりに賜物が与えられているという事です。聖書には賜物は同じ聖霊様がそれぞれに与えて下さると語っています（4）。その種類は違いますが、同じ聖霊様が私たちに賜物を与えて下さっているのです。ここで強調されているのは、賜物は神様が与えて下さるものだという事です。自分の努力や才能ではなく、神様から与えられているという事を覚えたのです。

またその賜物は共同体の益になるために与えられています（7）。それぞれの賜物を通して、私たち一人ひとりが共同体である教会を建て上げる者になっていくのです。

二つ目の事は弱いものを配慮するという事です。私たちの陥ってしまいがちな思いは「私はこんなに頑張っているのに、あの人はなぜ」という思いです。奉仕を頑張っている人、教会に熱心に仕えている人ほどこの思いを持つかもしれません。しかしパウロは「弱い人を配慮しなさい」と繰り返し語っています。その根拠は神様の前にはすべての人が弱さを持つている存在だからです。その弱さを通して私たちは神様を知り、

イエス様の恵みをいただく事が出来ます。そのことを自覚する時に私たちは上からではなく、弱さを持っている人に隣から寄り添い配慮することが出来るのです。

最後の大切な事、それは教会を成長させてくださるのは神様だという事です。教会も罪ある人間の集まりです。全て完璧にくわけではありません。しかし神様が最終的に補ってくださって成長させてくださいます。そのことを信じ私たちはイエス様を土台とし、自分自身を点検し続けることが大切なのです。

私たちは共に教会を建て上げる者として、教会に遣わされています。そのことを覚えそれぞれの賜物を用いて、共に教会を建て上げる者になりましょう。

【消息 報告】

■講演会「グリーンフケア」

日時 10月3日(日)
14時～15時半

講師 有田モト子師

臨床心理士、横浜いのちの電話ス
ーパーバイザー

配信会場 蒲田シオン

・インターネットから視聴ください
(聖日礼拝と同じ要領です)

・8月29日に礼拝奉仕をしてくださった
荻野倍弘牧師よりご挨拶のお手紙をいた
だきました。礼拝堂に掲示しています。また、
教会ホームページの「教会員向けページ」
にも掲載しています。

■教勢報告

*9月5日

第1礼拝 13名

第2礼拝 4名

小学科ホザナ礼拝

小0名 中2名 高1名

■お詫び

本日、発行のシオンだよりに誤りがあり
ました。お詫びして訂正いたします。

第3面の記事で

正)石岡教会 協力牧師 石田いつ子

誤)取手教会 協力牧師 石田いつ子

誠に申し訳ございませんでした。

シオンだより編集 岸田 悟